2019 年度　事業報告書（案）

2020 年 5 月 26 日

社会福祉法人もえぎの会

目　　次

I.　総括　・・・　P2

II.　共通

1.　重点課題　・・・　P2

2.　苦情・相談対応　・・・　P4

3.　防災・安全対策　・・・　P6

4.　研修　・・・　P7

5.　地域・関係機関との連携　・・・　P10

III. 施設別

1.　本部　・・・　P13

2.　しいの実社　・・・　P16

3.　しいの実社　学芸大学スマイルプラザ　・・・　P20

4.　沙羅の家　・・・　P23

5.　短期入所　・・・　P26

6.　地域生活支援拠点（目黒区委託事業）　・・・　P28

追記　新型コロナウイルス感染症　・・・　P31

I.　総括

2018 年度から取り組んできた事務局機能の強化や事務処理の改善が定着してきた。 財務管理や規程管理等の法人組織運営にかかわる業務を事務局の所掌とし、事業部門ではしいの実社と沙羅の家の施設長がそれぞれの管理下の人事管理や事業運営管理を行う体制が整ってきた。

一方、グループホーム運営では沙羅の家　清水が開設 2 年目を迎え、利用者の受け入れがほぼ完了し、スタッフ数はしいの実社と同数に近い大規模な組織になった。 大規模になった沙羅の家は事務処理のマニュアル化など、組織運営の整備が急務となっている。

しいの実社における利用者の動向では、大きな変動はないが就労移行支援事業の利用者が 8 月に就職が決まり利用者ゼロの状況となった。 今後利用者の確保をする必要がある。

利用者は、高齢化・重度化が進み、家族による支援力の低下と併せて、質量ともに支援の必要性が増加し、スタッフの研修や連携によりサービスの質の確保に努めた。

また、苦情等の対応で障害福祉課や目黒区障害者虐待防止センターからの調査や指導を受ける事案が発生し、再発防止に向けた一層の取組の強化が求められる年であった。

II.　共通

1.　重点課題

（1）労働安全衛生法に基づく労働管理体制の確立

事業計画作成時では労働安全衛生法（以下「法」という）で定める事業所の規模を法人全体と解釈をしていたが、法で定める事業所規模は「事業場（施設）毎に 50 人以上の場合」であった。 そこで法に基づく労働安全委員会の整備ではなく、事故防止や大規模災害への対応検討を行うための安全対策委員会を設置した。

委員会では事故報告書やヒヤリハット報告書の内容を検証し再発防止への認識を深め、より安全なサービス提供を図った。 また、大規模震災を想定した大規模災害対策計画の策定に向けた検討を行い、法人として大規模災害対策計画をまとめた。

また、今年度は衛生管理者資格取得者を配置したので、今後は労働安全衛生も含めた委員会運営を図っていく。

（2）諸規程の見直しとスタッフへの周知

法人の諸規程は、法改正や社会環境の変化、法人運営の変化に合わせて適宜見直しを行う必要があった。 併せて 2019 年度は目黒区の実地検査が行われ、その中でも規程の見直しを指摘された。 そこで法との整合性や運営の実態との乖離などの視点から、定款や経理規程などを改訂した。

また、スタッフへ運営会議等で説明し、規程の内容の周知を図り組織人としての意識の向上を図った。

今後も法改正や社会状況、運営状況を見据えて適宜規程の管理を行う。

（3）スタッフへの計画的指導・育成

スタッフの経験年数ごとにグループ化し、グループごとに必要な実務研修や職層研修の受講を促進した。 可能な限り全スタッフが必要とする研修へ参加ができるよう、単年度のみでなく中期的に取り組むこととし、2019 年度の受講者を決定し、研修を受講してもらった。

実績の人数は後述の「研修」の記載のとおりで、前年より増加した。

研修終了後は所掌業務への活用や習得した知識等を報告書として提出し、運営会議等で他のスタッフへ伝達研修する機会を設けた。

特に 2019 年度は、研修機会の少なかった沙羅の家のスタッフの外部研修への参加を積極的に取り組んだ。

今後とも継続して研修機会を増やし、スタッフの質の向上を図っていくこととする。

（4）利用者の高齢化に対応した支援

利用者の高齢化に対応する支援を検討するために、最初に部課長で法人内の具体的な高齢化に伴う課題の洗い出しをした。 その後、把握した課題を整理し具体的な取り組み方を検討した。

その過程で短・中期的な課題や個別の課題が整理され、2019 年度は高齢化に伴う体力低下から作業内容の見直しが必要となる利用者への支援具体策を検討した。

現行の作業内容や作業時間の見直しを行い、従来よりさらに画一的な作業ではなく、利用者の働きやすい無理のない作業ができるよう支援を行った。

利用者の高齢化は、さらに急激に進展することから、今後も継続して取り組むことが必要である。 そのため、外部の研修を受講したり、情報を収集したりするとともに、スタッフの力量を向上させていかなくてならない。

（5）しいの実社学芸大学作業室の活用

関係スタッフにより学芸大学 2 階活用プロジェクトを設置し、年 8 回の検討会を開催した。

検討会には目黒障害者就労支援センターにも参加していただき、地元商店街での就労を視野に入れて検討した。 プロジェクトのメンバーが周辺の店主等と情報交換を行う中で、障害者やしいの実社の利用者ほとんど知られていないことがわかった。

そこで、近隣の商店街をはじめ、地域にしいの実社の利用者をもっと理解していただくようなアウトリーチを行い、具体的に利用者のできる作業や仕事の切り出しなど、身近な商店等と相談を進めていくこととした。

作業の案としてはパンの注文取りと配達や店舗前やガラス窓の清掃などが挙がっているが、今後の商店街との連携の中で具体化を図っていく。

2020 年度から学芸大学作業室を拠点として活用し、地域貢献活動を推進し、併せて就労移行支援のプログラムの充実を図っていくこととする。

（6））沙羅の家清水の入居者の受け入れ完了と短期入所の稼働率の向上

沙羅の家清水は利用者が無理なくグループホームの生活に移行できるよう、できるだけ利用者や家族の意向に沿って進めてきた。 また、少人数の受け入れを行いながら入居者の生活の安定を図り、次に新たな入居者を受け入れることでスタッフの負担も軽減できる。

そのため定員数の入居者を受け入れるのに、約 2 年を要したが、現在は概ね全入居者が安定したグループホームでの生活を送ることができている。

一方、沙羅の家清水は要望の多い２部屋の短期入所を併設している。 短期入所はグループホームスタッフの兼務により運営されており、グループホーム入居者の安定を優先し、本格的な短期入所の利用は、2019 年の 4 月から開始した。 当初は事前申し込みの体験利用中心であったが、12 月から緊急受入も可能な限り受け入れを行っている。 実績は後述の「短期入所」に記載しているが、現行のスタッフ体制では受け入れに限度がある。

2020 年度は、緊急受入の要望に応えるために、夜間勤務を含めてスタッフ体制の見直しを行う。

2.　苦情・相談対応

（1）苦情内容

月	施設	苦情内容	対応内容
4 月	しいの実社	ご家族から背中に赤みがあり、赤みの位置から本人によるものとは考えられず、第 3 者によるものではないかとの申し出があった。	施設としては原因特定ができず、状況観察に注力をするとしてご家族に報告を行っていたが、再度線状のひっかき傷のようなものが見られたので、区の障害者虐待防止センター（以下「センター」という）へ相談した。 その後センターによるスタッフの聞き取り調査が行われ、センターからは、スタッフの不適切な関わりや疑いを持つ行動は確認されなかったとの報告があった。 合わせて法人の対応における課題も指摘を受け、区の指導も受けながら、さらに虐待防止対策の強化や、家族とのコミュニケーションの改善に努めることとしている。 このような経緯適宜ご家族に報告を行ったが、ご理解をいただくには至っていない。

4 月	しいの実社	ご家族から工賃の明細内容で、有休の届を行っていたはずの日が、欠勤扱いとなっている。 休暇の確認をして、工賃も清算が発生するのではないかとの申し出があった。	申し出あった日の出勤の処理を確認し、ご家族の申し出のとおりであったので、速やかに工賃の差額分の清算を行い、事務処理のミス謝罪した。
7 月	しいの実社	ご家族から右眉毛を誰かに剃られたようなので、状況を明確にしてほしいとの申し出があった。	しいの実社内で状況確認を行い、原因の特定ができなかった旨をご家族に謝罪と報告をした。 ご家族は施設の対応に納得がいかず、障害福祉課へ相談を行った。 その後、障害福祉課や計画相談事業所も含めて話し合い、再度上記の説明を行い、ご本人が安心して通える施設であるようスタッフ一同で努力していくことを伝えた。
8 月	沙羅の家	ご家族からグループホームから帰宅後に足のアザを発見した。 ぶつけたり、転んだりしたかもしれないので、スタッフも注意をしてほしいとの申し出があった。	スタッフと情報を共有し、今回のアザの原因検証を行ったが特定ができなかった。 今後、さらに注意して、アザ等の異変を見逃すことのないよう、スタッフに注意喚起したことをご家族に伝えた。
10 月	事務局	沙羅の家利用者ご家族より請求書の依頼を何度かお願いしたが届かなかった。請求書が届かなかった 4 ヶ月分の利用料を一度に支払うことができないとの申し出があった。	請求書の発行や管理、沙羅の家と事務局部課長で役割の確認をおこなった。 ご家族には、毎月の預り金の精算後にお返しする予定の金額を未収金に充当していくことでご納得いただいた。
1 月	しいの実社	個別面談の日程調整をした際にご家族の体調がすぐれないことが分かり、連絡先として登録してあったご兄弟の携帯へ留守電を残したところ仕事中に聞いてパニックになったとのことで電話連絡のお断りの申し出があった。	ご家族とご本人それぞれの相談員と連絡をとり、今後お二人を連携してサポートしていくことで了承を得る。 ご家族への連絡において混乱させてしまった旨を謝罪する。

（2）虐待防止委員会

月日	主な内容	出席人数
7/3	目黒区虐待防止センター聞き取り調査 虐待通報書・虐待受付・経過報告	委員　6 人
9/13	目黒区虐待防止センター調査報告書 今後の虐待防止対策	委員　6 人
12/12	虐待防止の取り組みの進捗確認 虐待防止研修	委員　6 人

3.　防災・安全対策

（1）事故

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	喧嘩・紛争	器物破損	その他	計
しいの実社	0	1	1	0	5	1	4	12
学大スマイル	0	0	0	0	0	0	1	1
沙羅の家	0	0	2	2	0	0	1	5
短期入所	0	0	0	0	0	0	1	1
支援拠点	0	0	0	0	0	0	1	1
計	0	1	3	2	5	1	8	20

（2）ひやりはっと

施設	転倒・転落	怪我	服薬	誤飲・誤嚥	喧嘩・紛争	器物破損	その他	計
しいの実社	0	2	2	0	3	1	3	11
学大スマイル	1	2	0	0	1	0	0	4
沙羅の家	0	1	5	1	2	0	2	11
短期入所	0	0	0	0	0	0	2	2
支援拠点	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	5	7	1	6	1	7	28

【販売に関するもの】

	異物混入	表示	品質	賞味期限	金銭	その他	計
苦　　情	3	1	1	0	0	1	6
事　　故	0	0	0	0	0	0	0
ひ や り	1	0	0	0	0	0	1

（3）防災訓練

施設	実施日	内　　容
スマイルプラザ	8/9（金）	緊急一時集合場所の確認・速やかな避難行動
沙羅の家向原	8/10（土）	第一避難場所の確認・速やかな避難行動
沙羅の家大岡山	9/14（土）	第一避難場所の確認・速やかな避難行動
沙羅の家清水	10/22（火）	緊急一時集合場所の確認・速やかな避難行動
しいの実社	12/23(月)	消防計画・体制の確認、消火器訓練
沙羅の家向原	2/22（土）	地震を想定した訓練・緊急一時集合場所、広域避難場所の確認
スマイルプラザ	3/26（木）	中止
沙羅の家	3/31（火）	地震を想定した訓練・緊急一時集合場所、地域避難所の確認
沙羅の家大岡山	3/31（火）	緊急一時集合場所の確認
しいの実社	3/31（火）	火災を想定した訓練

4.　研 修

（1）外部研修

実施日	施設	研修	実施主体	参加人数
6/13	しいの実社	発達障害における課題	目黒区発達障害支援拠点ぽると	1 人
	沙羅の家			2 人
6/19	沙羅の家	施設支援における「合理的　配慮」とは何かを考える	東京都障害者通所活動施設スタッフ研修会	1 人
6/28	しいの実社	強度行動障害支援基礎講座	東京都社会福祉協議会知的発達障害部会	1 人
7/10・11	沙羅の家	関東地区スタッフ研究大会	関東地区知的障害者福祉協会	1 人
7/23・24・8/9	事務局	社会福祉法人・施設会計実務研修会	東京都社会福祉協議会	1 人
7/24・30・8/6	しいの実社	東京都障害者虐待防止・権利	東京都福祉保健財団	1 人

		擁護研修（管理者）		
7/30・31	しいの実社	福祉スタッフ職務階層研修「初任者研修」	東京都社会福祉協議会	1 人
7/31	しいの実社	ｻｰﾋﾞｽ管理責任者更新研修	総合健康推進財団	1 人
8/1・2	沙羅の家	てんかん講座	日本てんかん協会	1 人
8/21	沙羅の家	GH 基礎研修	社会福祉法人手をつなぐ育成会（都委託事業）	3 人
9/12・13	しいの実社	福祉スタッフ職務階層研修「中堅スタッフ研修」	東京都社会福祉協議会	1 人
9/20	沙羅の家	三年目スタッフ研修	東京都社会福祉協議会	1 人
9/25・26	学大スマイル	福祉スタッフ職務階層研修「中堅スタッフ研修」	東京都社会福祉協議会	1 人
9/26	沙羅の家	GH 基礎研修	社会福祉法人手をつなぐ育成会（都委託事業）	2 人
10/1・2	沙羅の家	福祉スタッフ職務階層研修「中堅スタッフ研修」	東京都社会福祉協議会	2 人
10/1・2	しいの実社	福祉スタッフ職務階層研修「中堅スタッフ研修」	東京都社会福祉協議会	1 人
10/3	沙羅の家	東京都育成会　大研修会「新宿区の地域生活支援拠点の取り組み」	東京都手をつなぐ育成会	2 人
10/5	しいの実社	自閉症セミナー	日本発達障害連盟	1 人
10/8・9	しいの実社	強度行動障害養成者研修	東京都	1 人
10/9	沙羅の家	D カフェ　ミニ学習会「高齢者の入院・身体面の影響」	NPO 法人 D カフェまちづくりネットワーク	1 人
10/19	沙羅の家	第 1 回発達障害者相談支援研修「自閉症の人への支援」	東京都発達障害者支援体制整備推進事業	3 人
10/27	沙羅の家	第 2 回発達障害者相談支援研修「社会的コミュニケーション支援」	東京都発達障害者支援体制整備推進事業	3 人
10/31	沙羅の家	アウトリーチ支援研修	都立中部総合精神保健福祉センター	1 人
11/2	沙羅の家	第 4 回都通研研修会「重症心身障害児者の支援の	東京都障害者通所活動施設スタッフ研修会	1 人

		基本と実践」		
11/11	事務局	人事管理研修	東京都社会福祉協議会	1 人
11/13	沙羅の家	目黒区基幹相談支援センター学習会「相談支援の基本的な視点とは」	目黒区基幹相談支援センター設置検討委員会	5 人
11/20	沙羅の家	GH 基礎研修	社会福祉法人手をつなぐ育成会（都委託事業）	2 人
11/27	沙羅の家	飯田橋榎本クリニック講習会「IQ7580～制度のはざま～」	飯田橋榎本クリニック	2 人
12/9	沙羅の家	東京都発達障害支援協会「高齢化の対応」	東京都発達障害支援協会	1 人
12/17	沙羅の家・しいの実社	目黒区障害者虐待防止センター講習会「施設スタッフによる障害者虐待」	目黒区虐待防止センター	9 人
12/18・19	沙羅の家	地域移行関係スタッフに対する研修	東京都精神障害者地域以降推進事業	1 人
12/21	沙羅の家	第 3 回 発達障碍者障害者相談支援研修「アセスメントツールの導入」	東京都発達障害者支援体制整備推進事業	1 人
1/18	沙羅の家	第 4 回 発達障害者相談支援研修「それぞれの専門性を高める」	東京都発達障害者支援体制整備推進事業	1 人
1/21	沙羅の家	精神障害計画相談支援従事者等養成研修「精神疾患と障害特性の理解」	東京都福祉保健局	1 人
1/25	しいの実社	終末期支援を考える	東京都社会福祉協議会知的発達部会	1 人
1/27	沙羅の家	基幹相談支援センターの在り方・役割	目黒区基幹相談支援センター設置検討会	3 人
1/29	沙羅の家	第 5 回都通研研修会「個別支援計画を再考するⅢ」	東京都障害者通所活動施設スタッフ研修会	1 人
2/5・13	しいの実社	強度行動障害(基礎研修)	東京都	1 人
2/6	しいの実社	障害ある子の親亡きあと～いる間の準備	手をつなぐ親の会	1 人
2/19・20	沙羅の家	福祉スタッフ職務階層研修「管理職研修」	東京都社会福祉協議会	1 人

2/20･21	沙羅の家	サービス管理責任者基礎研修	東京都福祉保健局	１人

（2）内部研修

実施日	施設名	研修名(内容)	対象者	講師
7/2	しいの実社・学大スマイル	DVD による「てんかん」の基本的な知識	２年～５年未満スタッフ	しいの実社施設長
7/8		社福に求められるもの 障害の基礎知識	新規採用スタッフ	しいの実社施設長
7/10		DVD による障害理解	５年以上１０年未満スタッフ	しいの実社施設長
7/22		障害理解	２年～５年未満スタッフ	しいの実社施設長
7/25		障害理解(氷山モデル)	５年以上１０年未満スタッフ	しいの実社施設長
8/2		疑似体験による障害理解	新規採用スタッフ	しいの実社施設長
8/19		DVD による「てんかん」理解	５年以上１０年未満スタッフ	しいの実社施設長
10/16		虐待防止研修　伝達講習	正規スタッフ	しいの実社施設長
11/11		自閉症スペクトラム	新規採用スタッフ	しいの実社施設長
12/13		個別支援計画	新規採用スタッフ	しいの実社施設長
12/18		虐待防止研修　事例紹介	正規スタッフ	しいの実社施設長

5.　地域・関係機関との連携

（1）実習・体験・見学

実施日	受入施設名	実習・見学等依頼先	人数
5/20	しいの実社（見学）	民生委員（東部地区）	４人
6/10～6/14	しいの実社（実習）	人事院公務員研修所	３人
7/3	しいの実社（見学）	特別支援学級教諭	15 人
7/29	しいの実社（見学）	法政大学付属高校在学生	２人
8/15	学大スマイルプラザ（見学）	田園調布特別支援学校在学親子	１人

8/17～ 12 日間	しいの実社（実習）	東洋英和女学院大学　人間科学保育子ども学課	1 人
8/22	しいの実社（見学）	法政大学付属高校在学生	1 人
9/2～ 12 日間	しいの実社（実習）	東洋英和女学院大学　人間科学保育子ども学課	1 人
9/10	学大スマイルプラザ（見学）	ハローワーク渋谷	1 人
10/24	しいの実社（見学）	清泉女子大学在学生	1 人
11/12-15	学大スマイルプラザ（見学）	港特別支援学校　利用者実習	1 人
11/13	しいの実社（見学）	玉川病院	1 人
11/15	学大スマイルプラザ（見学）	港特別支援学校保護者	2 人
11/18	しいの実社（見学）	港特別支援学校 2 年生保護者	1 人
12/3	しいの実社（見学）	同上	2 人
2/21	しいの実社（見学）	目黒障害者センター相談員他	1 人
3/4	学大スマイルプラザ（見学）	リタリコスタッフ他	2 人

（2）相談支援事業所利用実績

事業所名	たんぽぽ	あいアイ館	リタリコ	目黒相談支援センター	エール	いんくる	ふれんず	その他	なし	合計
人数	22	13	9	8	4	1	1	3	1	62

（3）広報紙「萌木」の発行

① 対象者　　行政、議会、学校、関係機関、利用者、家族、ボランティア、後援会会員等

② 発行時期　4 月、10 月

③ 発行部数　750 部

④内容　　【4 月号】

- 巻頭文：区議会議長挨拶
- 2019 年度事業計画
- 第 17 回しいの実祭報告
- しいの実社学芸大学店開店 10 周年
- 後援会会員インタビュー

　大正鉄筋コンクリート株式会社、株式会社アークリンク、立石クリニック

- 沙羅の家施設長所信表明、沙羅の家清水開設 1 年を振り返って

【10 月号】

- 巻頭文：社会福祉協議会会長挨拶
- もえぎの会事業報告会報告
- しいの実社社員研修旅行報告
- 後援会員インタビュー

青木工務店、三憲工業株式会社、エレクター株式会社

- 沙羅の家　ユニット合同イベント報告、例大祭参加報告

（4）通信「しいの実通信」の発行

（1）対象者　　利用者、家族

（2）発行時期　　5 月、1 月

（3）発行部数　　70 部

（4）内容　　5 月

- 巻頭文：理事長
- スタッフ紹介（新規採用）
- 部門別スタッフ紹介
- ある日の 1 日（ランチと休憩）

1 月

- 巻頭文：理事長・施設長
- しいの実祭報告
- 社員研修旅行報告
- スマイルプラザ活動報告

（5）後援会だよりの発行（発行　後援会）

① 対象者　　後援会員

② 発行時期　　4 月、10 月

③ 発行部数　　600 部

④ 内容　　【4 月号】

- 巻頭：会長挨拶
- 第 17 回しいの実祭報告
- しいの実社宿泊旅行報告
- 丸紅基金社会福祉助成内容報告

【10 月号】

- 巻頭：会長挨拶
- 後援会総会報告

• 2018 年度収支決算報告
• 一般就労報告

（6）事業報告会

① 対象者　行政、議会、関係機関、利用者、家族、後援会員、ボランティア等
② 開催日　7 月 20 日（土）
③ 会場　目黒区総合庁舎大会議室
④ 参加者人数　179 人（内スタッフ　41 人）
⑤ 内容　事業報告、懇親会

III. 施設別

1. 本部

諸規程の見直しとスタッフへの周知を徹底することに努めた。 また障害福祉サービスの制度に基づく諸手続き（利用料金等の請求や報告等）の書式等を整備しそれらを活用して事務処理を行った。

分掌事務を整理し、各自が自立して事務処理が行えるようになった。

（1）スタッフの異動

	本部				しいの実社			
	前年	退職	異動	現員	前年	退職	異動	現員
正　規	2	0	0	2	14	2	3	13
契　約	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	5	1	2	6	5	0	1	6
計	7	1	2	8	20	2	2	20

	しいの実社学芸大学スマイルプラザ				沙羅の家			
	前年	退職	異動	現員	前年	退職	異動	現員
正　規	4	1	1	4	19	1	1	19
契　約	0	0	0	0	0	0	0	0
パ ー ト	8	1	1	8	5	1	1	5
計	12	2	2	12	24	2	1	24

	合　計			
	前年	退職	異動	現員
正　規	39	4	5	39
契　約	0	0	0	0

パート	23	3	5	25
計	62	5	7	64

（7）会議運営

①　理事会

開催日	主な内容	出席人数
5/28	2018 年度事業報告、2018 年度決算報告、理事候補者の選任	理事 7 人 監事 2 人
6/19	理事長の選任	理事　7 人 監事　2 人
10/29	2019 年度上半期事業実績、2019 年度補正予算	理事　5 人 監事　1 人
3/3	2020 年度事業計画、2019 年度予算、積立金計上、役員候補者の選任、ランチ委託業者選定、規則・規程変更	理事　7 人 監事　1 人

②　評議員会

開催日	主な内容	出席人数
6/18	2018 年度事業報告、2018 年度決算報告、理事の選任	評議員 6 人 監事　2 人
11/19	2019 年度上半期事業報告、2019 年度補正予算	評議員 6 人 監事　2 人
3/17	2020 年度事業計画、2020 年度予算、理事の選任、規則規程変更	評議員 6 人 監事　2 人

③　後援会（役員会）

開催日	主な内容	出席人数
6/4	総会・事業報告会準備、活動内容の確認	役員 3 人 運営委員 10 人
9/3	総会等振り返り、活動内容進捗確認（広報誌・会員勧誘）	役員 3 人 運営委員 10 人
12/3	しいの実祭報告、会員募集状況等確認	役員 2 人 運営委員 10 人
3/3	もえぎの会 2020 年度計画案、会員募集状況、広報進捗確認	役員 1 人 運営委員 9 人

④　後援会（運営委員会）

開催日	主な内容	出席人数

4/2	今年度の活動内容	運営委員 12 人
5/14	事業報告会計画概要	運営委員 12 人
7/2	事業報告会詳細計画	運営委員 12 人
8/6	事業報告会反省、広報誌発行計画	運営委員 7 人
10/4	広報誌発行報告、しいの実祭バザー準備	運営委員 7 人
11/7	しいの実祭バザー詳細確認	運営委員 10 人
1/8	会員募集状況、年賀状発送報告	運営委員 7 人
2/5	会員募集状況、学大ショップ感謝祭報告、広報誌発行計画	運営委員 9 人

⑤　幹部会

開催月	主な内容
4 月	第 1 回理事会（議案・スケジュール等）2019 年度重点課題の取り組み
5 月	理事会準備進捗状況の確認、重点課題の取り組み計画
6 月	重点課題の進捗状況の確認
7 月	事業報告会の確認、安全・衛生対策委員会設置、もえぎの会虐待防止体制・
8 月	社会福祉法人の展開(厚労省資料)、事業報告会報告、上半期事業報告案・特定処遇改善加算
9 月	第 2 回理事会（議案・スケジュール等）各部門報告
10 月	しいの実祭確認、上半期事業報告・補正予算
11 月	有給取得進捗状況、しいの実祭確認、各部門報告
12 月	2019 年度重点課題進捗状況、実地指導検査指導事項対応状況
1 月	2020 年度事業計画、社会福祉連携推進法人
2 月	2020 年度事業計画・予算案、安全衛生対策委員会報告
3 月	2020 年度スケジュール、事務局体制及び起案決定等の事務処理

2.　しいの実社

利用者の高齢化が進む中で、変化していく体力や作業力に合わせて通所時間や作業内容の変更・作業量の調整・高齢福祉関係者等とのケース検討会の開催等を行った。 また個別のケースの課題を挙げ状態変化の対応シートの整備を進めることとなった。

また、経験年数を積んだスタッフの割合が多くなってきており、資格取得に向けた研修や専門的な支援の研修への参加や階層別の研修により支援力向上を図った。

（1）利用者状況（障害別・性別・年代別）

種別等		生活介護	就労継続 B	計
性別	男	18 人	9 人	27 人
	女	6 人	2 人	8 人
	計	24 人	11 人	35 人
年代別	10 代	0 人	0 人	0 人
	20 代	1 人	2 人	3 人
	30 代	7 人	3 人	10 人
	40 代	11 人	2 人	13 人
	50 代	5 人	4 人	9 人
	60 代	0 人	0 人	0 人
	70 以上	0 人	0 人	0 人
	計	24 人	11 人	35 人
愛の手帳	2 度	13 人	2 人	15 人
	3 度	10 人	7 人	17 人
	4 度	1 人	2 人	3 人
	計	24 人	11 人	35 人
障害支援区分	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	0 人	0 人	0 人
	区分 3	0 人	5 人	5 人
	区分 4	16 人	2 人	17 人
	区分 5	6 人	3 人	9 人
	区分 6	2 人	0 人	2 人
	計	24 人	10 人	33 人

（2）利用状況

				2019 年度	2018 年度	2017 年度
生活介護	開所日数	土曜開所	有	250	251	251
			無	239	240	240
	延べ利用人数	土曜開所	有	5741	5703	5661
			無	5543	5552	5303
	平均利用人数／日	土曜開所	有	23 人／日	22.7 人／日	22.6 人／日
			無	23.2 人／日	23.1 人／日	22.1 人／日
	利用率	土曜開所	有	114.8%	113.6%	112.8%
			無	116.0%	115.7%	110.5%
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	250	251	251
			無	239	240	240
	延べ利用人数	土曜開所	有	2236	2393	2394
			無	2181	2342	2337
	平均利用人数／日	土曜開所	有	8.9 人／日	9.5 人／日	9.5 人／日
			無	9.1 人／日	9.8 人／日	9.7 人／日
	利用率	土曜開所	有	89.4%	95.3%	95.4%
			無	91.3%	97.6%	97.4%

（3）利用者工賃

単位：円

		給料（賞与含む）	1 人当たり	
			年額	月額
2019 年度	生活介護	7,251,670	302,153	25,179
	就労継続B	2,870,520	260,956	21,746
2018 年度	生活介護	7,459,650	310,818	25,901
	就労継続B	3,109,740	310,974	25,914
2017 年度	生活介護	7,192,340	312,710	26,059
	就労継続B	3,487,670	317,060	26,422

（4）販売　　単位：円

年度		店　舗			施設外販売		計
		しいの実社	学芸大学	さんまるしえ	イベント	区役所	
2019	営業日	237 日	237 日	294 日	33 日	24 日	417 日
	売上額	4,462,322	13,906,590	3,398,800	2,606,171	1,036,955	25,410,838
	平均日額	18,828	58,677	11,560	78,974	43,206	211,245
2018	営業日	236 日	236 日	306 日	36 日	23 日	839 日
	売上額	4,996,976	14,290,620	3,137,860	2,891,453	1,000,020	26,316,931
	平均日額	21,174	60,553	10,254	80,318	43,479	215,778
2017	営業日	234 日	234 日	282 日	30 日	24 日	804 日
	売上額	5,143,580	15,671,640	2,997,340	1,470,440	1,125,130	26,408,130
	平均日額	21,981	66,973	10,629	49,015	46,880	195,478

（5）土曜日開所プログラム

実施日	主な内容	参加人数
4/27	映画鑑賞・昼食会（弁当）	社員 21 人、スタッフ 4 人
5/4	映画鑑賞・昼食会（弁当）	社員 26 人、スタッフ 5 人
6/15	映画鑑賞・昼食会（楽園菜館）	社員 28 人、スタッフ 6 人、ボランティア　1 人
7/6	映画鑑賞・昼食会（楽園菜館）	社員 31 人、スタッフ 6 人、ボランティア　3 人
8/17	映画鑑賞・昼食会（楽園菜館）	社員 26 人、スタッフ 6 人、ボランティア　2 人
9/21	映画鑑賞・昼食会（天狗）	社員 31 人、スタッフ 6 人、ボランティア 1 人
10/19	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 24 人、スタッフ 6 人、ボランティア 1 人
12/21	演奏会(MGK)・昼食会(楽園菜館)	社員 30 人、スタッフ 7 人
1/25	映画鑑賞・昼食会(楽園菜館)	社員 25 人、スタッフ 6 人
2/15	昼食会(天狗)・カラオケ	社員 29 人、スタッフ 6 人、ボランティア 2 人
3/21	映画鑑賞・昼食会(弁当)	社員 26 人、スタッフ 6 人

（6）　年間行事

- 宿泊研修旅行

実施月日	9 月 5 日(木)・6 日(金)
実施場所	山梨・石和温泉・リニア見学センター・河口湖
参加者	社員 48 人・スタッフ 28 人・ボランティア 3 人・実習生 2 人

- しいの実祭

実施月日	11 月 30 日(土)
実施内容	しいの実社にて、模擬店・後援会バザー・自主製品販売・区内福祉施設による販売・清水町会模擬店・楽器演奏・子供向けイベント等の実施
参加者	社員 51 人・スタッフ 43 人・ボランティア 14 人　合計参加者 1,790 人

（7）家族会

	月日	出席人数	主な内容
第１回	4/8(月)	34 人	スタッフ体制・事業報告・年間予定等
第２回	7/1(月)	29 人	スタッフ体制・部門等報告・健康診断
第３回	10/7(月)	36 人	スタッフ体制・虐待通報に関する報告
第４回	1/27(月)	21 人	2020 年テーマ・2019 事業経過報告・感染症予防
第５回	3/2(月)	資料配布	2020 事業計画概要等資料にて配布

（8）スタッフ会議

① 運営会議

	主な内容
4/16	研修報告・支援（加算・困難ケース）・部門等報告
6/11	2018 年度事業報告・2019 年度事業計画・虐待防止・部門等報告
8/20	スタッフ体制・研修報告・虐待防止・権利擁護・部門等報告
10/15	スタッフ体制・虐待防止講習・指導検査報告・部門報告・ひやりはっと報告・しいの実祭
12/17	苦情解決規程・体制・自立支援費の仕組み・2019 年度重点課題・学大スマイル報告
2/18	運転手当・36 条協定・感染症・部門報告

② チーフ会議

	主な内容
5/21	部門間連携、支援、年間予定
7/16	有給・夏休みの取得、着替え対応
9/17	研修「チーフの役割」、
11/12	研修「チーフの役割」、部門間連携
1/21	研修「福祉施設における収益」、重点課題
3/23	新年度体制

③ランチ会議

月日	主な内容	出席人数
7/26	嗜好調査、高齢利用者の食事、個別対応食	スタッフ５人、事業者　３人
3/9	嗜好調査結果、利用者の個別対応、事業者より	スタッフ４人、事業者　１人

3.　しいの実社学芸大学スマイルプラザ

就労移行支援の利用者が 8 月に 1 名就労し実績ができたが、利用者 0 名となった。 そのため実習の受け入れや特別支援学校への挨拶など利用者獲得につながる取り組みを積極的に行ってきた。 一方で利用者の高齢化の課題は個別に作業のペースを配慮するなどの取り組みを継続しながら、法人としても検討を行い、個別の状況変化への対応医師と確認しながら進める方針を確認した。

また、重点課題に挙げた学芸大学作業室活用についても、2020 年度は商店街にある立地を生かし地域貢献活動を推進し、併せて就労移行支援のプログラムの充実を図っていく。

（1）利用者状況（障害別・性別・年代別）

種別等		就労継続B	就労移行	計
性別	男	13 人	0 人	13 人
	女	7 人	0 人	7 人
	計	20 人	0 人	20 人
年代別	10 代	0 人	0 人	0 人
	20 代	8 人	0 人	8 人
	30 代	5 人	0 人	5 人
	40 代	3 人	0 人	3 人
	50 代	1 人	0 人	1 人
	60 代	0 人	0 人	0 人
	70 以上	3 人	0 人	3 人
	計	20 人	0 人	20 人
愛の手帳	2 度	6 人	0 人	6 人
	3 度	10 人	0 人	10 人
	4 度	4 人	0 人	4 人
	計	20 人	0 人	20 人
障害支援区分	区分 1	0 人	0 人	0 人
	区分 2	2 人	0 人	2 人
	区分 3	9 人	0 人	9 人
	区分 4	9 人	0 人	9 人
	区分 5	0 人	0 人	0 人
	区分 6	0 人	0 人	0 人
	計	20 人	0 人	20 人

（2）利用状況

				2019 年度	2018 年度	2017 年度
就労移行	開所日数	土曜開所	有	250	251	251
			無	239	240	240
	延べ利用人数	土曜開所	有	75	827	953
			無	75	819	926
	平均利用人数／日	土曜開所	有	0.3 人／日	3.3 人／日	3.8 人／日
			無	0.3 人／日	3.4 人／日	3.9 人／日
	利用率	土曜開所	有	5.0%	89.5%	75.9%
			無	5.2%	92.6%	77.2%
就労継続B	開所日数	土曜開所	有	250	251	251
			無	239	240	240
	延べ利用人数	土曜開所	有	4563	3950	3647
			無	4482	3875	3366
	平均利用人数／日	土曜開所	有	18.3 人／日	15.7 人／日	14.5 人／日
			無	18.8 人／日	16.1 人／日	14 人／日
	利用率	土曜開所	有	91.3%	90.9%	80.7%
			無	93.8%	93.2%	77.9%

（3）利用者工賃

	事業名	総支給額（賞与含む）	1 人当たり	
			年額	月額
2019 年度	就労移行	166,310	166,310	13,859
	就労継続B	5,821,420	291,071	24,256
2018 年度	就労移行	962,810	240,703	20,059
	就労継続B	5,551,800	308,433	25,703
2017 年度	就労移行	1,175,560	235,112	19,593
	就労継続B	5,724,720	301,301	25,108

（4）販売

※しいの実社に記載

（5）　土曜日開所プログラム

※しいの実社と同様

（6）年間行事

① 宿泊研修旅行

※しいの実社と同様

② 日帰り研修旅行

実施月日	10 月 21 日(月)
実施場所	八芳園(昼食)、美空ひばり記念館
参加者	社員 4 人、スタッフ 2 人

（7）　家族会

※しいの実社と同様

（8）スタッフ会議

①　運営会議

※しいの実社と同様

②　チーフ会議

※しいの実社と同様

4.　沙羅の家

2019 年度は沙羅の家清水の入居完了を重点課題に据え運営してきた。 GH の入居に関しては、沙羅の家清水 3 ユニットで 7 名の受け入れを行い、残り 2 名の体験入居を実施している。 沙羅の家、沙羅の家向原、沙羅の家大岡山の 3 ユニットは、週末帰省している利用者向けに週末 GH 利用を試験的に実践したり、余暇支援に注力したり、今後を見据えた取り組みを始める一年となった。

1.　利用者状況

①　性別・年代別

性　別			年　代　別							
男	女	計	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 以上	計
31 人	5 人	36 人	0 人	1 人	5 人	15 人	11 人	1 人	3 人	36 人

②　障害種別等

愛の手帳				障害支援区分					
2 度	3 度	4 度	計	2	3	4	5	6	計
14 人	14 人	8 人	36 人	2 人	5 人	23 人	4 人	2 人	36 人

③　居住年数

居住年数					
1 年未満	1 年以上 3 年未満	3 年以上 5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上	計
6 人	11 人	4 人	9 人	6 人	36 人

2.　年間行事（外出プログラム）

実施日	施設	内　　容	参加人数
5/1	向原	GW 外出イベント（スカイツリー＆水上バス）	利用者 6 人 スタッフ 4 人
5/2	向原	GW 外出イベント（くりはま花の国）	利用者 2 人 スタッフ 2 人
5/3	大岡山	GW 外出イベント（鮪卸のお店でマグロ丼ランチ）	利用者 4 人 スタッフ 2 人
5/6	大岡山	GW 外出イベント（食事会・海鮮丼）	利用者 4 人 スタッフ 2 人
7/13	沙羅の家、向原、大岡山	BBQ イベント(武蔵小山）	利用者 18 人 スタッフ 10 人

10/22	沙羅の家	外出イベント（碑文谷で外食ランチ）	利用者 6 人 スタッフ 3 人
10/22	向原	外出イベント（沼部で外食ランチ）	利用者 7 人 スタッフ 4 人
10/22	大岡山	外出イベント（恵比寿で外食ランチ）	利用者 6 人 スタッフ 4 人
10/22	清水 A	外出イベント（武蔵小山でカラオケ）	利用者 4 人 スタッフ 3 人
10/22	清水 B	室内イベント（お好み焼き作り）	利用者 5 人 スタッフ 3 人
10/22	清水 C	外出イベント（碑文谷で外食ランチ）	利用者 4 人 スタッフ 2 人
2/11	沙羅の家、向原、大岡山	合同外出イベント（原町住区センターでランチ会）	利用者 19 人 スタッフ 10 人
2/11	清水３ユニット	合同外出イベント（飯田橋でランチバイキング）	利用者 15 人 スタッフ 9 人
3/31	沙羅の家	外出イベント（大岡山で外食ランチ）	利用者 6 人 スタッフ 2 人
3/31	向原	外出イベント（武蔵小山で喫茶）	利用者7人 スタッフ 3 人
3/31	大岡山	外出イベント（大岡山で外食ランチ）	利用者 6 人 スタッフ 3 人
3/31	清水 A	室内イベント（パンケーキ作り）	利用者 2 人 スタッフ 2 人
3/31	清水 B	室内イベント（大掃除とランチ）	利用者 5 人 スタッフ 3 人
3/31	清水 C	外出イベント（都立大で外食ランチ）	利用者 4 人 スタッフ 3 人

3. 家族会

開催日	施設名	主な内容	参加人数
5/29	合同	2018 年度下半期の報告、2019 年度の予定など	家族 23 人
11/6	清水 3 ユニット	2019 年度上半期の報告など	家族 11 人 スタッフ 8 人
11/13	沙羅の家、向原、大岡山	2019 年度上半期の報告など	家族 12 人 スタッフ 8 人

4.　運営会議

	内　　容
4 月	今年度の会議、祝日イベントの振り返り
5 月	区実地検査の結果報告、希望休の取り方
6 月	「ひやりはっと」、沙羅の家年度目標
7 月	委員会・係業務、記録の取り方、
8 月	下半期のシフト、避難訓練の実施状況
9 月	委員会・係より報告、安全衛生対策会議の報告
10 月	家族会の準備
11 月	しいの実まつり
12 月	年末年始
1 月	2 月の祝日イベント
3 月	来年度

5.　短期入所

短期入所の運営は、順調に進められてきているが、2 部屋全体での平均稼働率は、3 割程度となっている。 2019 年度は、緊急の受け入れも行い、実績を積んできた。 また、緊急受け入れは、身体・知的の重複障害の利用者もあった。

（1）利用実績

月	利用の種類	利用人数（人）			利用日数（日）			利用率（%）	
		男	女	計	男	女	計	男	女
4 月	体験	1	4	5	2	9	11	7%	30%
	緊急	1	0	1	2	0	2	7%	0%
	計	2	4	6	4	9	13	13%	30%
5 月	体験	1	1	2	2	2	4	6%	6%
	緊急	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	計	1	1	2	2	2	4	6%	6%
6 月	体験	1	3	4	2	9	11	7%	30%
	緊急	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	計	1	3	4	2	9	11	7%	30%
7 月	体験	0	3	3	0	8	8	0%	26%
	緊急	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	計	0	3	3	0	8	8	0%	26%
8 月	体験	1	1	2	0	8	8	0%	26%
	緊急	0	3	3	0	6	6	0%	19%
	計	1	4	5	0	14	14	0%	45%
9 月	体験	1	2	3	2	4	6	7%	13%
	緊急	0	1	1	0	2	2	0%	7%
	計	1	3	4	2	6	8	7%	20%
10 月	体験	2	4	6	5	11	16	16%	35%
	緊急	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	計	2	4	6	5	11	16	16%	35%
11 月	体験	1	5	6	2	13	15	7%	43%
	緊急	0	0	0	0	0	0	0%	0%
	計	1	5	6	2	13	15	7%	43%
12 月	体験	2	6	8	6	12	18	19%	39%
	緊急	0	2	2	0	5	5	0%	16%

	計	2	8	10	6	17	23	19%	55%
1 月	体験	3	4	7	6	11	17	19%	35%
	緊急	0	3	3	0	7	7	0%	23%
	計	3	7	10	6	18	24	19%	58%
2 月	体験	2	5	7	4	15	19	14%	52%
	緊急	0	1	1	0	3	3	0%	10%
	計	2	6	8	4	18	22	14%	62%
3 月	体験	3	4	7	6	11	17	19%	35%
	緊急	3	0	3	12	0	12	39%	0%
	計	6	4	10	18	11	29	58%	35%
計	体験	19	46	65	37	113	150	10%	31%
	緊急	5	10	15	14	23	37	4%	6%
	計	24	56	80	51	136	187	14%	37%

（2）利用者の障害種別　　単位　人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
知的	6	2	4	3	5	4	6	6	10	10	8	10	74
身体	2	1		1	1		1			1			7
精神													0
その他													0
合計	8	3	4	4	6	4	7	6	10	11	8	10	81

（3）緊急利用の理由

レスパイト　　8 件

介護者の通院･入院等　　3 件

その他　　2 件

- 自宅の上の階が火事になったため
- GH での支援が難しくなったため

6.　地域生活支援拠点（目黒区委託事業）

開設後２年がたち、相談件数は、前年の約２倍となっている。 地域包括支援センターや保健所等との連携も増えている。

（1）相談・支援件数　　単位　人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談	実人数	21	27	35	33	37	23	25	42	29	34	50	63	419
	延人数	53	81	78	86	90	59	64	78	70	66	87	117	929
支援	実人数	11	11	15	14	14	14	15	27	24	19	23	26	213
	延人数	68	70	40	47	45	42	88	50	60	44	58	58	670

（2）相談者の障害種別

種別	身体	知的	精神	児童	その他	重複	不明	合計
人数	7	214	179	13	82	0	14	509

※障害種別は本人・家族のみを対象としている。

※その他には、アルコール依存症の方からの相談が含まれている。

（3）主な相談内容

	主な内容	件数
1	緊急対応	50
2	短期入所	53
3	体調	136
4	福祉サービス	152
5	日常生活	345
6	金銭管理	112
7	家族関係	111
8	人間関係	63
9	職場施設	72
10	近隣関係	5
11	その他	341
	合計	1,440

（4）主な支援内容

	主な内容	件数
1	緊急対応	21
2	安否確認	3
3	見守り	13
4	家庭訪問	16
5	付き添い	31
6	傾聴助言	429
7	相談継続	191
8	紹介	17
9	その他	380
	合計	1,101

（5）研修

実施日	研修名	実施主体	参加数
5/19	親やスタッフ同士との良いコミュニケーションを築くために～コミュニケーション力アップの実践基礎講座～	田口教育研究所	1 名
6/7	高齢者と障害者が共生・新しい形のシェアハウスって？	公益社団法人　神奈川県社会福祉士会	1 名
6/13	発達障害における課題～集団生活の場面で～	目黒区発達障害支援拠点ぽると	1 名
6/14	若年性認知症	厚生中央病院・小野薬品工業株式会社共催	1 名
6/29	第 8 回プチパワーアップセミナー「知的障がいのある人を支える仕事をする方へ」	知的障害福祉士会	1 名
7/19	超高齢化社会における医療を考える ～第 83 回地域連携セミナー～	厚生中央病院・中外製薬共催	1 名
7/26	居場所をつくるひと	神奈川県立地球市民かながわプラザ	1 名
7/27	安心できる相続のために	つるふく net 神奈川県社会福祉士会横浜鶴見連絡会	1 名
9/6	「貧困の連鎖」の原因を探る	公益社団法人　神奈川県社会福祉士会川崎支部	1 名

10/3	「『安心して暮らしたい』その思いを実現させるためのネットワーク構築を考える	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会	2 名
10/11	社会福祉施設に求められる地域支援とは	社会福祉法　横浜市社会福祉協議会	1 名
10/16	発達支援の実際 ～対応の難しいケース～	目黒区発達支援拠点ぽると	1 名
10/31	アウトリーチ支援研修	東京都福祉保健局　東京都立中部総合精神保健福祉センター	1 名
11/2	重症心身障害児者の支援の基本と実践～支援に関わるスタッフとして知っておきたいこと～	東京都障害者通所活動施設スタッフ研修会	1 名
11/13	障害のある方への相談支援の基本的な視点とは	目黒区・目黒区基幹相談支援センター設置検討委員会	5 名
11/27	飯田橋榎本 CL 講演会 IQ70～85 知能指数 70～85 という「制度のはざま」	飯田橋榎本クリニック	2 名
12/17	目黒区障害者虐待防止センター	目黒区	1 名
12/18,19	東京都精神障害者地域移行促進事業	東京都	1 名
1/21	地域移行研修　東京都	東京都	1名

（6）見学

実施日	見学依頼先	人数
4/4	点字あゆみの会	1 名
6/15	高次脳機能障害家族会	1 名
6/19	かみよん工房	1 名
12/6	事業所訪問　たんぽぽ相談支援	2 名

追記　新型コロナウイルス感染症に対するもえぎの会の対応

（1）もえぎの会の考え方

猛威を振るう新型コロナウイルスは、障害者支援の活動にも脅威であり、危険を避けるだけなら、閉鎖すればよいが、社会的な責任として、活動を継続する。

スタッフにとっても、厳しい状況であるが、利用者・家族の期待に応えるために、できる限りの感染症防止対策を実行し、ご家族にも、協力をお願いしている。 事態は日々悪化することが想定され、緊張感をもって臨む決意を確認している。

スタッフは、できる限りの対策を検討し、実行するということを繰り返している。 このような状況でなければ、日々の活動は平凡な繰り返しとなりがちであるが今は違い、それぞれのスタッフが考え、みんなで意見交換し、協力するという姿を見せている。 今年のテーマである『連携の進展』が実践され、まさに「災い転じて福となす」の心境で取り組んでいる。

最後まで、利用者とスタッフを守るが、できることは限られており、絶対安全とはいえないので、陽性者、濃厚接触者が確認されたときは、迅速に適切に対応する。

（2）もえぎの会の感染防止対策

- 手洗い、消毒　　アルコールスプレー
- ランチ時、食堂人数削減　　時差、別室
- 3 蜜を避ける活動、作業、会議などの工夫　　パーティション、換気
- 朝・昼・帰宅時　清掃、消毒　　チェック表
- 部屋の換気
- 検温実施　　沙羅の家または家庭で検温、
- マスク着用　　スタッフ、利用者、入館者
- スタッフの時差通勤、車通勤　　必要に応じて
- 社員・家族の意向調査
- 嘱託医のアドバイス、相談

（3）もえぎの会の運営状況

			0 日	5 日未満	5 日以上	10 日以上	20 日以上	1 か月以上
しいの実社	利用者	自粛	21	8	12	5	6	1
	スタッフ	在宅勤務	3	26		1		
		年次休暇等			2			
沙羅の家	利用者	自粛	26	6	4	2	0	0
	スタッフ	在宅勤務	16	3				
		年次休暇等		3	1			1
本部	スタッフ	在宅勤務	3	3	1			
		年次休暇等		1				

（4）もえぎの会への影響

- 売上の減少　　イベントの休止等による影響

2019 年度 2 月　クラフトの特別注文 265,000 円

1 月末前年比　マイナス 12,000 円で、2019 年度末に向けて増加傾向

コロナの影響により、12,000,000 円マイナス

2019	3 月末執行額	3 月	2 月	1 月末累計
商品売上高	30,681,004	2,516,224	2,433,434	25,731,346
製菓	4,266,200	225,000	300,290	3,740,910
製パン	22,373,222	2,024,773	1,683,747	18,664,702
クラフト	843,970	18,670	279,230	546,070
織物	1,833,978	154,100	66,500	1,613,378
受託	686,980	70,821	91,087	525,072
飲料	219,730	22,860	12,580	184,290
2018	3 月末執行額	3 月	2 月	1 月末累計
商品売上高	31,362,069	2,944,679	2,673,781	25,743,609
製菓	4,296,560	343,760	434,460	3,518,340
製パン	22,940,417	2,029,981	2,056,298	18,854,138
クラフト	711,796	43,158	28,712	639,926
織物	1,942,089	388,880	87,920	1,465,289
受託	754,731	122,750	47,671	584,310
飲料	250,020	16,150	18,720	215,150
差額	3 月末執行額	3 月	2 月	1 月末累計
商品売上高	-681,065	-428,455	-240,347	-12,263
製菓	-30,360	-118,760	-134,170	222,570
製パン	-567,195	-5,208	-372,551	-189,436
クラフト	132,174	-24,488	250,518	-93,856
織物	-108,111	-234,780	-21,420	148,089
受託	-67,751	-51,929	43,416	-59,238
飲料	-30,290	6,710	-6,140	-30,860

しいの実社